

令和元年台風19号及び豪雨災害に伴う環境放射能モニタリング結果 について（第3報）

令和元年11月19日
福島県危機管理部放射線監視室

台風19号及び令和元年10月25日の豪雨に伴う大規模な浸水被害のあった地域において、令和元年11月13日（水）及び14日（木）に空間放射線量率の測定、河川の氾濫に伴い流入した泥土の放射能濃度の測定及び大気浮遊じんの放射能濃度の測定を実施しましたが、その結果については下記のとおりです。

1 調査結果

- 空間放射線量率の測定結果については、表1に示すとおり、測定値は0.08～0.14 $\mu\text{Sv/h}$ であり、台風19号通過前（令和元年9月）の県内7方部の空間放射線量率（0.03～0.15 $\mu\text{Sv/h}$ ）と同程度でした。
- 泥土の測定結果については、表2に示すとおり、Cs134+Cs137の濃度が55～2,990 Bq/kg（乾）であり、これは昨年度県が採取した県内7方部の土壌の結果（130～2,600 Bq/kg（乾））と同程度でした。
- 大気浮遊じんの測定結果については、表3に示すとおりです。最大値となった二本松市（上竹）において、Cs134+Cs137の濃度は、0.31 mBq/m³となっていますが、当該濃度の空気を1年間吸い続けたと仮定した場合の内部被ばく線量は0.00015 mSvと計算され、この値は、年間追加被ばく線量1 mSvの約6,600分の1となります。

表1 空間放射線量率の測定結果【 $\mu\text{Sv/h}$ 】

地点名	測定日	測定結果	県内7方部（※）の空間放射線量率の範囲（令和元年9月）
① 伊達市梁川町	令和元年11月13日	0.08	0.03～0.15
② 二本松市上竹	令和元年11月13日	0.14	
③ 郡山市横塚	令和元年11月13日	0.13	
④ 玉川村竜崎	令和元年11月13日	0.10	
⑤ いわき市好間町	令和元年11月14日	0.08	

※調査地点：県北保健福祉事務所南側広場、郡山合同庁舎東側駐車場、白河合同庁舎駐車場、会津若松合同庁舎駐車場、南会津合同庁舎駐車場、南相馬合同庁舎駐車場、いわき合同庁舎駐車場

表2 泥土の測定結果【Bq/kg 乾】

地点名	採取日	測定結果 (Cs134+Cs137)	県内7方部(※)の 環境土壌の範囲 (平成30年度)
② 二本松市上竹	令和元年11月13日	720	130~2,600
③ 郡山市横塚	令和元年11月13日	2,990	
④ 玉川村竜崎	令和元年11月13日	453	
⑤ いわき市好間町	令和元年11月14日	55	

※調査地点：福島市荒井、郡山市逢瀬町、いわき市川部町、白河市大信隈戸、相馬市中村、会津若松市一箕町、南会津町糸沢

※検出下限値 Cs-134：5.9~13 Bq/kg 乾、Cs-137：5.3~15 Bq/kg 乾

表3 大気浮遊じん(ダスト)の測定結果【mBq/m³】(ハイボリウムエアサンプラによる測定)

地点名	採取日	測定結果 (Cs134+Cs137)
① 伊達市梁川町	令和元年11月13日	ND
② 二本松市上竹	令和元年11月13日	0.31
③ 郡山市横塚	令和元年11月13日	ND
④ 玉川村竜崎	令和元年11月13日	ND
⑤ いわき市好間町	令和元年11月14日	ND

※検出下限値 Cs-134：0.31~0.45 mBq/m³、Cs-137：0.27~0.35 mBq/m³

担当：放射線監視室

室長 酒井 広行 電話 024-521-8491 内線 5322

副課長兼主任主査 佐藤 俊弥 電話 024-521-8492 内線 5323